

お山の川へ

じわじわひやり。

わたしの足がつめたくなかった。

なつやすみ、パパがお山の川へつれていってくれた。

いわが、わたしより大きくてどうやってもってきたんだらうとおもった。

ママが、「このいわはね、山からお水がはこんできたんだよ。」といった。

山のお水はちからもちなんだね。

お山の川には、小さいさかながいっぱいいたんだ。

たのしくおよいできもちよさそうだった。

わたしも足に水がくるとつめたくて、きもちがよかった。

川のお水はみんなをきもちよくしてくれるんだね。川のお水大すぎ。

テレビで、たくさんあめがふってお山からたくさんのお水がながれて

おうちをのみこんでしまったり、

川からお水があふれて、

どうろや、りんごの木をのみこんでしまったりするニュースをみた。

みんなをきもちよくしてくれた川とはちがうかおだった。こわかった。

わたしは、やさしいお山の川が大すぎ。



益子町立益子西小学校 一年

望月 愛梨

絵 一瀬 美那子